



学校だより

平成 29 (2017) 年 2 月 11 日

カンタベリー日本語補習校

校長 古川 明

《4 学期が始まりました!》

南半球、ニュージーランドにある本校も長い夏休みが終わり、4 学期が始まりました。

この時期の日射しは強く、しばらくの時間、日射しに当たると皮膚が赤くなってしまいます。ニュージーランドでは屋外で活動をする時、紫外線から体を守る必要があります。そのため、現地校の子どもたちは屋外で活動する時、つばの大きい帽子をかぶって直射日光が当たらないようにしています。夏の気温は、30 度近くまで上がりますが、湿度が低く汗をかいてもべとつかず、スポーツの後の木陰は爽快感があります。ニュージーランドは自然が豊かで、屋外の体験活動が盛んです。学校のホリデー期間中に、家族でキャンプやサイクリングに出かけ、ニュージーランドの自然をたっぷり味わった方もいらっしゃると思います。

4 学期は、1 年間の学習のまとめをする大切な時期でもあります。授業日は他の学期と比べると少ないですが、在籍学年で学習した内容を基にして課題ごとにまとめ、それを発表して友達の意見や感想を聞いて、自らの考えを深めるよい機会でもあります。お子さんが在籍学年の学習内容の理解が進まない場合、前年度に学習した教科書で復習することは、良い方法でもあります。国語科の教科書は、年齢に応じた国語(日本語)力を身に付けるために編集されています。家庭でも大いにご活用ください。

補習校の教育は、教室学習と家庭学習が 5 : 5 で統合されて、子どもたちの国語(日本語)力が習得することができます。そのため、家庭学習は主に宿題に取り組むことが日課となります。家庭学習でのご指導が、引き続き大切になっております。補習校の授業(教室学習)は、学習規律に留意しながら、子どもたちの学習意欲を高め、学び合い学習を推進しています。

国語(日本語)力の向上のため、学習意欲を高め積極的に学習に取り組む気持ちが大切です。補習校に通ってくる子どもたちの学習意欲について、近年の傾向をお知らせします。

右表のように、子どもたちの国語に対する学習意欲は向上しており、そのことが、国語(日本語)力の向上にもつながっています。4 学期のまとめは、新年度の進級学年の学習につながります。子どもたちを認め、ほめ、励まし、学習意欲を引き出し、新年度の学習につながるよう努力を重ねていきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひいたします。

2013・2015 年度「子どもたちの国語学習意識調査」	
カンタベリー日本語補習校	
【国語の学習】が(すき、少しすき)	9.6%増加
【読んで考え想像する】が(とても楽しい、少し楽しい)	6.1%増加
【漢字の勉強】が(とても楽しい、少し楽しい)	6.0%増加
【本を読む】が(とても楽しい、少し楽しい)	5.7%減少
【話し合い】が(とても楽しい、少し楽しい)	83.6%
【発表を聞く】が(とても楽しい、少し楽しい)	88.1%

《中学部 3 年生・卒業キャンプ、小学部 6 年生・社会科見学》

中学部 3 年生の卒業キャンプは 1 月 24 日(火)から 1 泊 2 日の日程で実施しました。昨年度同様に、スプリングフィールドにある「スマイリーズアコモデーション」を起点にして行われました。1 日目は、キャッスル・ヒルでの昼食・散策。その後、レイク・リンドンでのカヤックに取り組みました。2 日目は、風が強かったため予定を変更して、午前中に地区の体育館で羽根つきやゲームを行いました。昼食後、サイクリングに出かけました。ニュージーランドの野外体験は、身近に豊かな自然が残されています。この時期の子どもたちは、体験を通して学ぶことが重要です。自然の優しさと厳しさを学ぶことは、自然に対する用心深さを同時に学ぶこととなります。登り下りのあるサイクリングやカヤックは、普段の生活ではあまり体験しませんが、子どものうちに体験しておくことが、人生をより良く生きる源につながっていきます。友達と楽しみながらカヤックの操作ができたおもしろさ。カヤックを漕ぐときは、バランスをとることの難しさを理解し、練習を重ねて克服できるようになったときの達成感。誰に頼ることもなく、できるようになったときの気持ちを味わうことができます。2 日間の様々な活動にふれながら、お互いに友達のことを気遣いながら行動する優しさや思いやりを見せてくれました。補習校の同年齢の仲間と一緒に、楽しい思い出を作ることができました。



小学部 6 年生の社会科見学は、1 月 26 日(木)、クライストチャーチ地震(今月で 6 年経過)からの復興状況について見学しました。地震により軟弱地盤と指定された地域の住宅は立ち退き、その跡地は広大な緑地公園になっていました。また、市内中心部では復興計画に基づき、公共的建物が建築されている最中です。公共的建物の中には、大規模な駐車場やバスエクスチェンジなどはすでに利用され、街の変貌する姿を見学することができました。その後、バスと船を利用して、リトルトン湾に浮かぶクエル・アイランドへ向かいました。昼食後、島内一周に出かけました。見晴らしの良い所や案内看板のある所で休憩を取りながら、島の自然や歴史を学ぶことができました。社会科見学を通して、友達と行動を共にしながら、同年齢の友達が普段どんなことを考え、どんな事に興味を持っているのか等、普段の授業日では分からないことが、互いに分かり合える機会でもありました。自然の中で友達と楽しそうに過ごしている 6 年生を見ながら、「仲間」としてより良く成長して来ていることが分かりました。なお、6 年生は社会科見学を通して、地震からの復興の様子を報告にまとめることにしております。

